

事業所名 児童発達支援センターなないろハウス

公表:令和 6年 5月 1日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	3		人数や用途に応じて部屋の使い分けを行っている。	
	② 職員の配置数は適切であるか	7	1		人数に応じて配置している。	送迎を希望される保護者さんが増えてきて、そこに人員を取られている。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	1		各部屋にイラスト・名前があり、視覚化されている。また、室内に段差はない。	玄関まではスロープと階段があるが、玄関の上り口に段差がある。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	1		日々の清掃に加え、空気清浄機、加湿器を設置し、コロナ、インフルエンザ等感染症対策も行っている。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	1		朝のミーティング、職員会を実施している。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			保護者向け自己評価の結果を職員で共有している。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			ホームページで公開している。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	5	現段階では未実施。今後受ける予定。	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			諫早こども医療への研修や当施設に来所してもらって療育のアドバイスを受けている。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8			契約時に保護者のニーズを確認し、担当者で話し合って作成している。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8			保護者のニーズ、施設からの提案で、OT、STが評価を行っている。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8			子どもに応じた発達支援を設定し、すべてのお子さんに対して家族支援、地域支援を表記している。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8			状況によって計画にはない支援を行うこともあるが、基本的に立案した支援計画に基づき、療育内容を考えている。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	1	グループ活動の内容はみんな考えているが、プログラム作成はリーダーが行う。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			同じ内容の活動とならないように、前回の活動の記録を確認するようにしている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	8			保護者のニーズにより、個別、グループを併用し、計画を立てている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	2		事前ミーティングを行い、サブの動きの確認をしている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1		事後ミーティングの中で変更した方がいい所、危険なところがなかったか等の話し合いをしている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			子ども一人一人の活動の様子や療育の記録を保護者にハグで伝える。	
	㉀	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8			年2回実施している。	
	㉁	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			施設長が参加する。	
	㉂	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	1		町の保健師さんや学校、こども園の先生と必要に応じて連携をとっている。	
	㉃	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1	2	5	現在対象者なし。今後、受け入れる予定。	
	㉄	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	3	4	現在対象者なし。	
関係機関や保護者との連携	㉅	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8			訪問した際に情報共有をしている。	
	㉆	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8			保護者から許可を頂いたのち、個別支援計画や検査結果を共有している。	
	㉇	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1		諫早こども医療より、技術支援を年3回行っている。	
	㉈	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3	3	連携している保育園やその他の保育園でも一緒に活動している。	
	㉉	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8			施設長が子ども部会に参加している。	
	㊱	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1		送迎時に伝えたり、ハグを使って細かに伝えている。	

	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	3	3	2	ペアレントトレーニングとしては行っていないが、相談に乗ったりアドバイスをを行う。	
保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			契約時に施設長が行っている。	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8			前期後期それぞれ説明をして、サインをいただいている。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			随時受け付けている。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8			二カ月に一回茶話会を行っている。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		施設長や担当の職員が相談に応じている。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			月に1回なないろだよりを発行し、ビジネスラインで行事予定等発信している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8			個人情報のファイルを作り、情報管理に努めている。	
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		送迎時に話したり、ビジネスラインで情報を発信し、視覚的にわかりやすくしている。	
非常時等の対応	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	5	今年度は行っていない。	
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	2		看護師の指導の下、感染症の研修、AEDの使用などの研修を行った。職員には周知できている。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			年2回火災の避難訓練を行う。来年度は災害時の訓練も行う予定。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8			面談時に確認し、共有している。新しく服薬を始められた時、追加や変更時にも連絡をいただくようにしている。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	3	1	4	食事の提供は行っていない。	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			ヒヤリハット事例集を作成し共有すると共にKYTトレーニングとして研修をする。	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			虐待防止委員会を設置し、管理者と担当職員が研修を受け、後日他の職員へ伝達研修を行っている。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	2	3	療育時の様子を保護者に連絡することもある。また来年度から支援計画に記載する。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。